

トラック輸送情報（平成21年9月分）

平成21年12月21日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

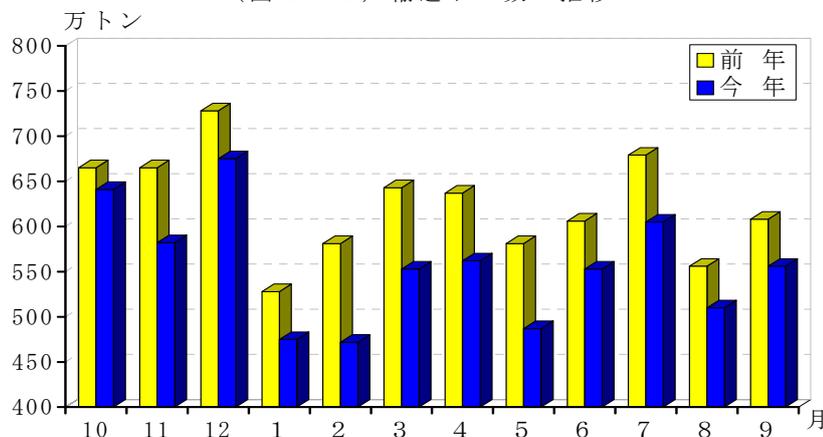
調査対象27社の本月の輸送量は、5,555,769トンで、前月と比べ総輸送量が約45万トン増加したため、前月比108.8%（季節調整済み101.0%）となり、前年同月との比較では、約52万トン減少したため、前年同月比91.4%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.1日で、前月と比べ0.3日減少し、前年同月と比べ0.4日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、240,509トンで、前月と比べ約2万2千トン増加したため、前月比110.3%となり、前年同月との比較では、約1万8千トン減少したため、前年同月比93.0%の実績であった。

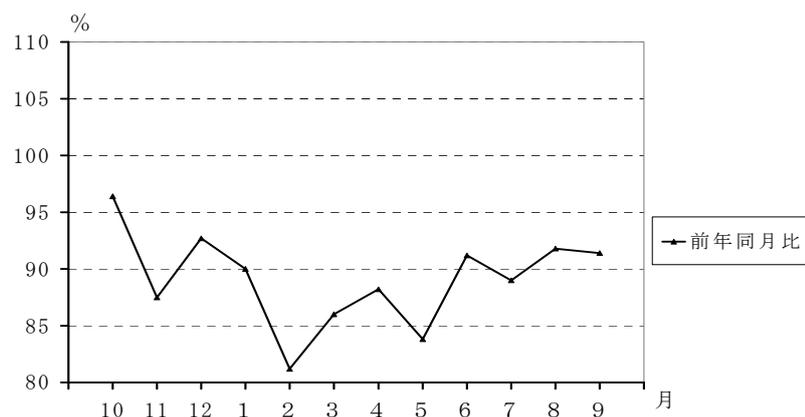
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



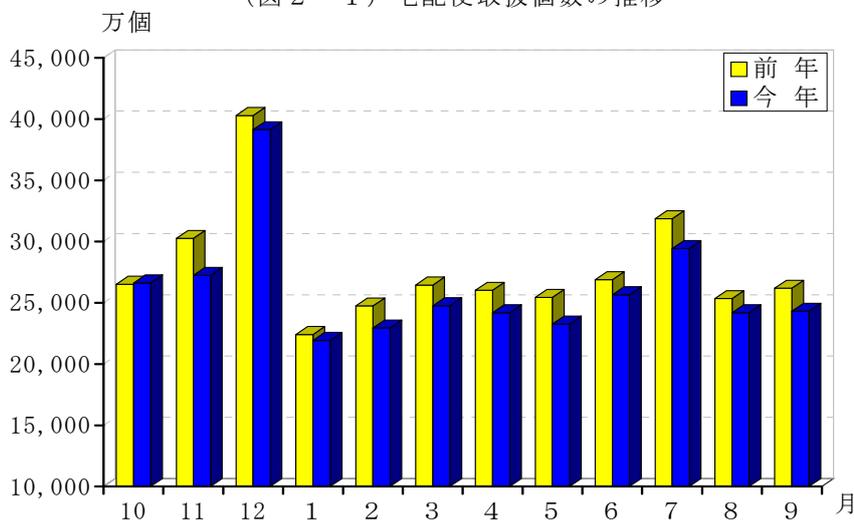
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、243,061 千個で、前月と比べ 約 124 万個増加したため、前月比 100.5% (季節調整済み 99.2%) となり、前年同月との比較では、約 1,888 万個減少したため、前年同月比 92.8%の実績であった。

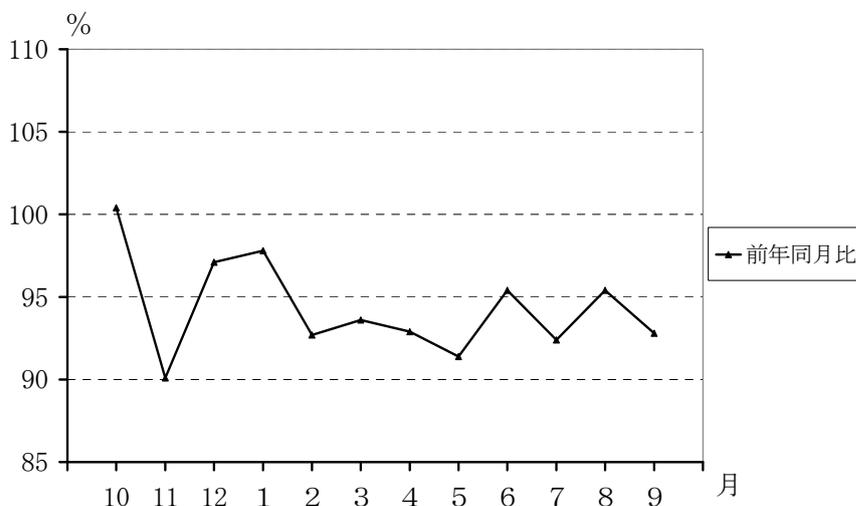
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、8 月のお盆休み等に伴う輸送量減少の反動等により、全般的に輸送量が増加した。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がほぼすべての品目に共通してみられたほか、「化学工業品」、「食料工業品」では倉庫から出る貨物増、「農水産品」、「化学工業品」、「日用品」では季節的需要増も要因となっている。地域的には、「食料工業品」、「日用品」が全国的に増加したほか、「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」が関東地方、北陸信越、中部、近畿地方、中国で、「化学工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、兵庫、中国で増加している。

前年同月と比べると、不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」、「日用品」で輸送量が減少している。地域的には、「農水産品」が北海道、東北で、「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」が東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿、中国で、「化学工業品」が神奈川、関東、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国で、「食料工業品」が東北、東京、関東で、「日用品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	4	10	3		8		
						青果物	4		
	金属製品	1	7	10	3	その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部、近畿地方、中国	4	
							北陸信越、中部	4	
	機械	1	5	12	2	1	機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
							電気機械		4
	化学工業品		9	10	3		合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、兵庫、中国	4, 7, 8
	繊維工業品	1	9	10	1	1	糸	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
食料工業品		7	12	1		飲料、その他の食料工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、福岡	4, 7	
日用品	2	10	7	2	1	衣服、身廻品、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 8	
						書籍・印刷物			
その他		5	11	4	2		神奈川、関東	4	
						宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		3	10	4	1	青果物	中国	
							農産品	北海道、東北	4
	金属製品			11	9	1	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 7, 9
	機械		1	7	11	2	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
								神奈川	
	化学工業品		2	9	11		その他の化学工業品	神奈川、関東、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 7
	繊維工業品			13	8	1	糸	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 7, 9
								近畿	
食料工業品		2	12	5	1	飲料、その他の食料工業品	東北、東京、関東	7	
							関東		
日用品	1	1	7	12	1	書籍・印刷物、衣服、身廻品、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、全国	4, 5, 7, 9	
その他		1	8	7	5	宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2, 9	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州(沖縄を含む))]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 787 社／調査対象事業者数 1,092 社）の輸送量は、前月比 108.3%、前年同月比 93.0%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	108.3%	110.9%	108.2%	108.0%	108.3%	111.0%	106.7%	109.8%	107.1%	106.4%	82.3%
前年同月比	93.0%	96.1%	94.5%	87.9%	88.4%	88.5%	93.7%	90.1%	96.5%	95.7%	86.9%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 110.9%、対前年同月比 96.1%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「野菜・果物」、「水産品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」、「廃棄物」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「食料工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 108.2%、対前年同月比 94.5%であった。品目別には、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」、「その他の窯業品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「穀物」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「工業用非金属鉱物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 108.0%、対前年同月比は 87.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「工業用非金属鉱物」等の輸送量が増加したほか、景気回復の兆しにより「金属製品」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「鉄鋼」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北信越	<p>本月の輸送は、対前月比 108.3%、対前年同月比は 88.4%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」等の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減により「金属製品」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 111.0%、対前年同月比は 88.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響により「金属製品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 106.7%、対前年同月比は 93.7%であった。品目別には、倉庫への入出庫増により「その他の窯業品」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「セメント」等の輸送量が増加している。一方、季節的需要減等により「金属製品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 109.8%、対前年同月比は 90.1%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」「食料工業品」等の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減により「木材」等の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「機械」等の輸送量が減少し、季節的需要減等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 107.1%、対前年同月比は 96.5%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増により「野菜・果物」等の輸送量が増加している。一方、天候の影響等により「輸送用容器」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「穀物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 106.4%、対前年同月比は 95.7%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加している。一方、季節的需要減等により「紙・パルプ」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「その他の石油製品」、「日用品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 82.3%、対前年同月比は 86.9%であった。品目別には、季節的需要増により「取り合せ品」の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減により「木材」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「野菜・果物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局											全国計
		北海道	東北	関東	北信陸越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄		
1. 穀物	増	1	2		5			1					9
	減	1	1		1				1	2			6
2. 野菜・果物	増	8	3			2		4	1	7			25
	減	2	1		1		1	1		5	1		12
3. その他の農産品	増	1		1	1			2					5
	減		1							2			3
4. 畜産品	増												
	減	1											1
5. 水産品	増	4			3	1	1		1	1			11
	減	1			1								2
6. 木材	増	6	1		2				1				10
	減	1			2				1	1		1	6
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増	2	1										3
	減	1											1
9. 金属鉱物	増				1								1
	減												
10. 砂利・砂・石材	増	13	2					1		7			23
	減	7						1		1			9
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1	2		1	1			1			7
	減		2			1		1					4
12. 鉄鋼	増	1	1				1	7		2			12
	減	1		1				1			1		4
13. 非鉄金属	増	1											1
	減						1						1
14. 金属製品	増		1	1	2		1	3		2			10
	減	1	1		1	1	3				1		8
15. 機械	増		1		1	2	2	4	1	4			15
	減		1	3	2	1		1	1	3			12
16. セメント	増	9	1		2		1	1	2	4			20
	減		2		1	1		1		2			7
17. その他の窯業品	増	1	2		1	1	1	1		1			8
	減							1					1

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北信	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
					陸越							
18. 揮 発 油	増											
	減	1	2		1	1			1			6
19. その他の石油製品	増	2		1			1	3		1		8
	減	1	1	1	2			1	1	3		10
20. コークス・ その他の石炭製品	増							1				1
	減				1							1
21. 化学薬品	増		1		1		1	2		1		6
	減											
22. 化学肥料	増	2		1	1			1				5
	減				1			1				2
23. その他の化学工業品	増						1	4		1		6
	減		1		1			1				3
24. 紙・パルプ	増		3			1	2	1	1	1	1	10
	減	2	1					1		3		7
25. 繊維工業品	増				1			1	1			3
	減							1		1		2
26. 食料工業品	増	1	1				3	6	3			14
	減	3	2		1		2		2	7	1	18
27. 日用品	増		1		1	1	1	2		1	1	8
	減	3		1	1			4		4		13
28. その他の製造工業品	増		2	2				1		5		10
	減				1			1		3		5
29. 金属くず	増									2		2
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2	4	1					1	1		9
	減			1				1		1		3
32. 廃棄物	増	1					1	2	1			5
	減	2	1									3
33. 輸送用容器	増							1		1		2
	減		1						1			2
34. 取り合せ品	増		1							1	2	4
	減		1		1	1				1	1	5
35. そ の 他	増		4	1	3		3	2		1		14
	減		2	2	1	1	1	3		1	1	12